

福祉臨床学科紀要 第7号の発刊にあたって

福祉臨床学科は、学科開設以来毎年度紀要を発刊し、本年度は7号を数えることができました。学科の充実にむけて、先生方と力を合わせ、試行錯誤の日々を過ごしてきました。

学生は、毎年、就職率ほぼ100%の実績を出しています。国家試験のハードルは、依然高いものがありますが、受験体制・学科のセミナー・指導体制も形が作られつつあります。

そのようななかで、この3月に安藤忠先生と堤莊祐先生が神戸親和女子大学を去られることになりました。

安藤忠先生は、2002年4月から神戸親和女子大学に教授として着任し、2003年4月からは福祉臨床学科創設と同時に学科長として3年間の重席に就かれ、2つの保育園をもつ社会福祉法人親和会の理事長としても、保育実践・教育をはじめ社会福祉教育に大任を果たされてこられました。合わせて8年間専任教員としてご活躍されました。ありがとうございました。

堤莊祐先生は、1997年4月から神戸親和女子大学に着任され、2003年からは福祉臨床学科の教員として、児童福祉を中心として、保育、地域活動等幅広い地域とのつながりを活かして大学教育、実習先との橋渡しなどにご尽力いただきました。2006年4月から2年間学科長としての重席に就かれ、学科の困難にも粘り強く取り組んでいただきました。合わせて13年間専任教員としてご活躍されました。ありがとうございました。

お2人の先生ともに2010年4月からは非常勤講師として、大学でお目にかかることができます。福祉への目が厳しい状況にある時期ですが、4月以降も学内で先生方から、豊富な経験を活かしたご示唆をいただく機会がありますことを願っております。

平成22年3月吉日

福祉臨床学科長 菊池信子